

## 壁紙選択上のご注意

### 防火性について

建物の内装仕上げについては、建築基準法による防火上の基準が設けられています。防火性能は、下地基材と防火認定材料の組み合わせ及び施工方法によって変わりますので、詳しくは別冊価格表の防火性能欄をご覧ください。

### 機能性壁紙について

機能性壁紙をご利用の際は、それぞれの特徴や注意点をご理解の上、ご使用ください。

### 柄合せ商品について

柄合せに必要な商品は、無地よりも要尺が多くなりますのでご注意ください。見本帳などの「柄リピート」表示を参考に柄合せしてください。柄リピート表示は理論値であり、若干の誤差が生じます。施工の際は、柄を目視で合わせてください。

### 壁紙の柄の見え方について

壁紙は同じ柄の繰り返しで作られているため、光の当たり方・見る角度などによって柄の繰り返しが目立つ場合があります。あらかじめご了承ください。ベース原反に着色していない商品はジョイントが白く目立つ場合があります。特に濃色の商品は目立ちやすいためご注意ください。施工時カッターが斜めに入ると白いラインが目立ちやすくなるため、切り口が必ず垂直になるようにご注意ください。

### 使用環境について

高温、多湿、水漏れの環境や、屋外での使用は避けてください。

### 施工費について

商品の施工難易度の違いや現場の状況に応じて施工費が割増しになる場合があります。あらかじめ商品の特性や現場の状況などを確認の上、商品選択をお願いします。

## ⚠ 施工上の注意

- ・特に注意が必要な下記機能性商品の施工要領についてご説明します。
- ・以降の商品群は、一般ビニル壁紙と比べ施工難易度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・一般的な壁紙の施工方法や、壁紙全般に共通する基本的な内容は、左頁記載の「施工のポイント」をご参照ください。

<p><b>汚れ防止壁紙</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>汚れ防止</b> (エパール<sup>®</sup>フィルムタイプ ファンクレア<sup>®</sup>フィルムタイプ)</li> <li>● <b>リフクリーン</b></li> <li>● <b>アカルクリーン</b></li> <li>● <b>ハードタイプ 汚れ防止</b></li> <li>● <b>スーパーハードタイプ</b></li> </ul>	<p><b>糊付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。</li> <li>・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。</li> </ul> <p><b>施工終了後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表面に付いた糊は変色の原因となりますので、きれいな水を使用して十分に拭き取ってください。</li> </ul> <p><b>モルタルやコンクリートの下地に施工する場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下地からの汚れやふくれを防ぐために、下地表面をシーラーで必ず2度処理してください。</li> </ul> <p><b>低温時に施工する場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンタイムを長めにとってください。</li> <li>・冬期は出来るだけ室内温度を暖めて施工してください。</li> <li>・接着剤は5℃以下になると接着強度が落ち、下地に逃げられない水分・空気が表面に抜けることができず、ふくれとなります。モルタル、コンクリート下地の場合は特に発生しやすいのでご注意ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ハードタイプ 撥水コート</b></li> </ul>	<p><b>糊付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。</li> <li>・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。</li> </ul> <p><b>低温時に施工する場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンタイムを長めにとってください。</li> <li>・冬期はできるだけ室内温度を暖めて施工してください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>表面強化</b></li> <li>● <b>ハードタイプ</b></li> </ul>	<p><b>糊付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。</li> <li>・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。</li> <li>・汚れ防止機能を持つものは上記の汚れ防止壁紙の施工上の注意をご参照ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>透湿</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糊の乾燥が速いため、付け溜めはできません。長時間置くと相剥ぎや目スキの原因となります。</li> </ul>

## 素材壁紙 (BB 8591～8602)

標準施工	下記は、標準施工に加えて必要な個別施工注意です。	
<p>素材の特性上ジョイント部に色差が生じることがあります。 施工時または施工後に素材が落ちることがあります。 下地からのアクやふくれを防ぐために、下地表面をシーラーで必ず処理してください。</p> <p><b>糊付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糊は濃いめに、塗布量は多めにして相剥ぎを防いでください。</li> <li>・表面に糊が付着しないようご注意ください。</li> <li>・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きはしないでください。</li> <li>・オープンタイムは右記にある各商品個別の施工注意をご確認ください。</li> </ul> <p><b>張り付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重量がある素材壁紙は、ゆっくり垂らして伸ばしてください。</li> <li>・素材壁紙は水分を含むと柔らかくもろくなります。天井への施工は破損や素材の滑落などが起こる可能性がありますので十分ご注意ください。</li> <li>・撫で付けは柔らかい刷毛を使用し、金ペラや固いローラーは使用しないでください。</li> <li>・カッターの刃は常に鋭利な状態で使用してください。</li> <li>・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。</li> <li>・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。</li> </ul>	<p><b>BB 8591～8594</b> (珪藻土壁紙)</p> <p><b>BB 8595・8596</b> (木粉壁紙)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンタイムは15～20分、施工可能時間は40分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。</li> <li>・折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にしないでください。(施工時に折りグセ部分の塗膜が剥かれることがあります。)</li> <li>・壁紙の表面を強くこすらないでください。吹付けた塗膜が剥かれることがあります。</li> <li>・壁紙が湿気を含んだ状態で強い力が加わると跡が残ったり、表面が傷付くことがあります。</li> </ul>
<p><b>施工終了後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表面に糊が付着した場合は固く絞ったスポンジで叩くようにした後、乾いた布で丁寧に拭き取ってください。糊汚れがあると変色の原因になります。</li> <li>・張り替えなどで剥がす際は、表面にたっぷりと水打ちをして、裏紙にまで湿り気を与える、または剥がし材を使用すると比較的剥がしやすくなります。</li> </ul>	<p><b>BB 8597～8602</b> (オレフィンチップ壁紙)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンタイムは夏期10～20分、冬期25～35分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。</li> </ul>